

令和2年度

第4回定期監査  
結果報告書

(令和3年2月執行分)

御殿場市監査委員

02御監第403号  
令和3年3月29日

御殿場市長 若林洋平様

御殿場市監査委員 榊原敏彦  
御殿場市監査委員 芹沢修治

### 定期監査の結果について(報告)

地方自治法第199条第4項の規定に基づき、令和2年度第4回定期監査を実施したので、その結果を同条第9項の規定により次のとおり報告します。

# 令和2年度第4回定期監査結果報告書

## 第1 監査の対象

産業スポーツ部 観光交流課、市民スポーツ課、2020オリンピック・パラリンピック課

都市建設部 都市計画課、都市整備課、公園緑地課、建築住宅課、道路河川課、管理維持課

## 第2 監査の期間

令和3年1月27日から令和3年2月22日まで

## 第3 監査の範囲

令和2年4月1日から12月31日までの財務に関する事務事業の執行状況

## 第4 監査の方法

提出された監査書類による説明聴取及び関係諸帳簿の照合と施設の管理状況の実査

## 第5 監査の結果

監査の対象となった事務事業の予算執行及び会計事務処理は適正に執行されており、施設等の管理状況についても概ね適正であった。

法令、条例、規則等に違反している事項、又は経済性、有効性の観点から改善を要する事項など、特に指摘すべき事項は見受けられなかった。また、指導事項についても、特に見受けられなかった。

所管毎の監査の概要は次のとおりである。

(注記)

- 1 文中に用いる金額は原則として千円単位で表示し、単位未満は基本的には四捨五入した。したがって、合計額または差額が一致しない場合もある。
- 2 表中の金額の単位はその都度表示し、千円単位の場合は単位未満を四捨五入してある。したがって、小計・合計欄が一致しない場合もある。
- 3 文中の比率(%)は、原則として小数点以下第2位を四捨五入し、構成比率の合計が100になるよう一部調整してある。  
また、執行率は99.95%～99.99%の場合99.9%としてある。
- 4 各表中の符号等の用法は、次のとおりである。  
「 0 . 0 」 … 該当数値はあるが、表示単位未満のもの  
「 - 」 … 該当数値がないもの、または数値を表示することが適当でないもの  
算出不能なもの、または増減率等の無意味なもの  
「 △ 」 … マイナスのもの
- 5 歳出予算執行状況は、人件費を除いた数値である。

## 産業スポーツ部

### 1 監査の対象

観光交流課、市民スポーツ課、2020オリンピック・パラリンピック課

### 2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。特に指摘事項、指導事項はなかった。

### 観光交流課

当課は、課長以下 11 人(うち会計年度任用職員 3 人)で、富士山・観光スタッフにより組織されている。

#### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・観光施策に関する事業（観光ハブ都市推進事業、富士山御殿場口振興事業、観光協会等助成事業、等）
- ・観光施設管理に関する事業（富士山交流センター(樹空の森)指定管理施設運営事業、富士山駐車場及び乙女駐車場の維持管理、等）
- ・観光広報事業（観光情報発信事業、観光キャンペーン事業、デスティネーションキャンペーン事業、等）
- ・観光振興事業（御殿場のまつり等支援事業、観光推進事業、等）
- ・温泉事業（観光施設事業特別会計:温泉会館・源泉及び御胎内温泉健康センターの維持管理、等）

#### (2) 予算の執行状況（一般会計）

一般会計の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

##### ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位:円・%）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	31,000	13,740	13,740	0	44.3	100.0
県 支 出 金	300,000	0	0	0	-	-
繰 入 金	191,382,000	155,391,600	154,907,600	484,000	80.9	99.7
諸 収 入	1,100,000	16,447	16,447	0	1.5	100.0

収入済額の主なものは、玉穂財産区特別会計繰入金(富士山御殿場口新五合目公衆トイレ改築事業等) 79,991 千円、印野財産区特別会計繰入金(富士山交流センター指定管理料等) 74,616 千円である。

イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
商 工 振 興 費	3,000,000	2,997,500	2,500	99.9
観 光 費	308,180,000	220,332,640	87,847,360	71.5
観光施設事業会計繰出金	13,340,000	0	13,340,000	0.0

※人件費を除く

事業別の執行状況は、富士山御殿場口振興事業(予算現額 85,836 千円、支出済額 84,235 千円、支出率 98.1%)、富士山交流センター指定管理施設運営事業(予算現額 94,000 千円、支出済額 70,500 千円、支出率 75.0%)、観光協会補助事業(予算現額 31,000 千円、支出済額 31,000 千円、支出率 100.0%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、観光広報事業の負担金補助及び交付金-交付金 14,900 千円、富士山交流センター指定管理施設運営事業の委託料 23,500 千円、富士山交流センター施設管理費の需用費-修繕料 13,212 千円、観光施設事業会計繰出金の繰出金 13,340 千円である。

(3) 予算の執行状況 (観光施設事業特別会計)

観光施設事業特別会計の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	2,660,000	1,611,200	1,501,000	110,200	56.4	93.2
繰 入 金	64,340,000	40,937,000	30,937,000	10,000,000	48.1	75.6
繰 越 金	1,000,000	3,644,215	3,644,215	0	364.4	100.0

収入済額は、温泉使用料 1,501 千円、印野財産区特別会計繰入金(御胎内温泉健康センター指定管理料等) 30,937 千円、前年度繰越金 3,644 千円である。

## イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
温 泉 会 館 管 理 費	4,292,000	3,709,445	582,555	86.4
温 泉 管 理 費	9,643,000	3,071,946	6,571,054	31.9
御 胎 内 温 泉 健 康 セ ン タ ー 管 理 費	51,000,000	30,937,000	20,063,000	60.7
予 備 費	2,866,000	0	2,866,000	0.0

事業別の執行状況は、施設管理費（予算現額 3,780 千円、支出済額 3,698 千円、支出率 97.8%）、施設維持管理費（予算現額 9,276 千円、支出済額 2,706 千円、支出率 29.2%）、御胎内温泉健康センター指定管理施設運営事業（予算現額 50,000 千円、支出済額 30,000 千円、支出率 60.0%）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、施設維持管理費の需用費-高熱水費 3,944 千円、委託料 1,804 千円、御胎内温泉健康センター指定管理施設運営事業の委託料 20,000 千円、予備費 2,866 千円である。

## (4) 使用料の収納状況（観光施設事業特別会計）

使用料の収納状況は、次のとおりである。

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
温 泉 使 用 料	2,660,000	1,611,200	1,501,000	110,200	56.4	93.2

## (5) 意見・要望事項

- ア 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。
- イ 指定管理施設（富士山交流センター（樹空の森）、御胎内温泉健康センター）のモニタリングについては、御殿場市指定管理者制度運用ガイドラインに従い、引き続き適正に実施し、施設の管理運営レベルの向上及び最適な市民サービスの提供につなげてほしい。
- ウ 富士山交流センター（樹空の森）については開園から10年になる。周辺の公共施設とも連携し、富士山の魅力発信に努められたい。
- エ 温泉会館の再整備については、費用対効果等も含め、慎重な検討をお願いしたい。
- オ オリンピック・パラリンピック後やコロナ収束後を見据えた観光施策を官民一体となって展開し、観光需要の回復、観光の再活性化につなげてほしい。

## 市民スポーツ課

当課は、課長以下 5 人(うち会計年度任用職員 1 人)で、市民スポーツスタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・スポーツ振興等に関すること（体制基盤整備、指導者の養成確保、競技スポーツの振興、等）
- ・指定管理施設運営事業（総合体育施設及び馬術・スポーツセンターの指定管理に関する事務）

### (2) 予算の執行状況（一般会計）

一般会計の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	247,000	185,840	185,840	0	75.2	100.0
財 産 収 入	0	9,946,179	9,946,179	0	-	-
寄 付 金	0	0	0	0	-	-
繰 入 金	0	0	0	0	-	-
諸 収 入	22,473,000	12,474,875	12,474,875	0	55.5	100.0

収入済額の主なものは、廃道敷等土地売払収入(国道469号社会資本整備総合交付金(国道道路改築)事業に伴う土地売払収入) 9,946 千円、スポーツ振興くじ助成金 7,250 千円、その他雑入(国道469号社会資本整備総合交付金(国道道路改築)事業に伴う物件移転補償費) 5,225 千円である。

#### イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
ス ポ ー ツ 振 興 費	219,760,000	170,335,983	49,424,017	77.5

※人件費を除く

事業別の執行状況は、指定管理施設運営事業(予算現額 108,680 千円、支出済額 79,860 千円、支出率 73.5%)、体育施設管理費(予算現額 91,571 千円、支出済額 74,157 千円、支出率 81.0%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、指定管理施設運営事業の委託料 28,820 千円、体育施設管理費の工事請負費 13,115 千円である。

(3) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

(4) 意見・要望事項

- ア 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されるように引き続き指導されたい。
- イ 指定管理施設(総合体育施設、馬術・スポーツセンター)のモニタリングについては、御殿場市指定管理者制度運用ガイドラインに従い、引き続き適正に実施し、施設の管理運営レベルの向上及び最適な市民サービスの提供につなげてほしい。
- ウ 総合体育施設及び馬術・スポーツセンターについては、老朽化が問題になっているとのことである。関係部局と調整の上、緊急性・必要性を検討し計画的な改修を進められたい。
- エ 体育協会等の関係団体と協力しながら、市民のスポーツ力・競技力向上へ向けた競技スポーツの支援や、市民が親しみやすい生涯スポーツの推進に努められたい。

## 2020オリンピック・パラリンピック課

当課は、課長以下 8 人で、2020オリンピック・パラリンピックスタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・スポーツツーリズム推進事業(各種スポーツイベントの開催、三井住友VISA太平洋マスターズ開催支援、ゴルフ振興事業、等)
- ・オリンピック・パラリンピック推進事業

### (2) 予算の執行状況 (一般会計)

一般会計の歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況 (款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
国 支 出 金	3,998,000	0	0	0	-	-
繰 入 金	9,125,000	4,185,000	4,185,000	0	45.9	100.0
諸 収 入	1,615,000	0	0	0	-	-

収入済額の主なものは、オリンピック・パラリンピック推進事業に伴う財産区特別会計繰入金 4,185 千円(837 千円×5財産区)である。

#### イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
ス ポ ー ツ 振 興 費	34,983,000	16,332,316	18,650,684	46.7

※人件費を除く

事業別の執行状況は、オリンピック・パラリンピック推進事業(予算現額 23,666 千円、支出済額 9,375 千円、支出率 39.6%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、スポーツツーリズム推進事業の負担金補助及び交付金-交付金 3,998 千円、オリンピック・パラリンピック推進事業の委託料 6,755 千円、負担金補助及び交付金-交付金 7,400 千円である。

### (3)意見・要望事項

- ア イベント等により休日出勤の多い業務ではあるが、職員に過度の負担とならないよう、引き続き業務管理の適正化に努められるとともに、時差出勤など負担の軽減となる勤務形態について検討されたい。
- イ 補助金・交付金については、その内容及び効果を十分に検討されるとともに、補助団体の経理事務について適正に運用されたい。
- ウ オリンピック・パラリンピックの開催が不透明な中ではあるが、機運醸成や新型コロナウイルス対策等、関係団体と調整の上、安全・安心な大会の実現に向けた万全の準備を進められたい。

## 都市建設部

### 1 監査の対象

都市計画課、都市整備課、公園緑地課、建築住宅課、道路河川課、管理維持課

### 2 監査の結果

監査した結果、財務に関する事務の執行は適正かつ効率的に執行されているものと認められた。特に指摘事項、指導事項はなかった。

## 都市計画課

当課は、課長以下 10 人で、計画スタッフ、開発スタッフ、景観スタッフにより組織されている。

#### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・都市計画調査事業（景観行政推進事業、都市計画マスタープラン策定事業、等）
- ・都市計画法による許認可事務（開発行為の許可（第 29 条）、建築許可（第 43 条）、等）
- ・屋外広告物に関すること

#### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

##### ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	7,116,000	3,452,865	4,082,685	△629,820	57.4	118.2
県 支 出 金	59,000	61,308	61,308	0	103.9	100.0
諸 収 入	0	0	0	0	-	-

収入済額の主なものは、開発行為許可等申請手数料 2,193 千円、屋外広告物許可申請手数料 1,886 千円である。

## イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
都 市 計 画 総 務 費	10,889,000	1,192,622	9,696,378	11.0

※人件費を除く

事業別の執行状況は、都市計画調査事業（予算現額 9,774 千円、支出済額 612 千円、支出率 6.3％）が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、都市計画調査事業の委託金 8,763 千円である。

## (3) 意見・要望事項

- ア 景観形成推進事業について、違反広告物の是正が課題になっているとのことであるが、世界文化遺産のまちにふさわしい良好な景観形成を図るためにも、引き続き調査及び是正・指導をお願いしたい。
- イ 各種許認可事務については、新東名高速道路関連等のインフラ整備に伴う相談件数の増加や慎重な対応が必要となることにより、職員への精神的負担が多いとのことである。職員配置等を工夫し、健康管理に留意されたい。
- ウ 現在使用している都市計画基本図は平成18年当時の都市施設や地形情報であり、現況の土地建物利用状況とも相違が多々あるとのことである。更新には多額の費用がかかるが、新東名高速道路等のインフラ整備や周辺土地利用の目途が立ちつつあるため、時期を見て更新をお願いしたい。

## 都市整備課

当課は、課長以下 9 人で、市街地整備スタッフ、新拠点整備スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・街路関連事業(都市計画道路 新橋深沢線(市道 0115 号線)道路整備事業、市道4242号線整備事業、新橋茱萸沢線整備事業)
- ・御殿場駅周辺施設整備事業(御殿場駅周辺活性化事業、御殿場駅前広場周辺整備事業、御殿場駅東西自由通路改修事業)
- ・拠点等整備事業(板妻南工業団地開発事業、(仮称)夏刈南部工業団地開発事業、玉穂地区宅地創出事業)
- ・駅前施設維持管理事業(御殿場駅、南御殿場駅、富士岡駅前施設の維持管理に関する事務)

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
使用料及び手数料	4,687,000	4,688,150	4,688,150	0	100.0	100.0
国庫支出金	11,550,000	0	0	0	-	-
県支出金	500,000	0	0	0	-	-
財産収入	106,034,000	106,034,825	106,034,825	0	100.0	100.0
寄附金	400,000	400,000	400,000	0	100.0	100.0
繰入金	29,790,000	0	0	0	-	-
市債	69,800,000	0	0	0	-	-

収入済額の主なものは、御殿場駅富士山口広場使用料 3,788 千円、廃道敷等土地売却収入(玉穂地区宅地創出事業) 106,035 千円である。

#### イ 歳出予算執行状況(目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支出率
施設管理費	33,818,000	19,375,533	14,442,467	57.3
街路関連事業費	127,188,000	66,918,635	60,269,365	52.6
拠点等整備事業費	865,554,000	94,214,115	774,339,885	10.9

事業別の執行状況は、御殿場駅周辺施設維持管理費(予算現額 30,125 千円、支出済額 17,041 千円、支出率 56.6%)、街路関連事業(予算現額 68,062 千円、支出済額 24,405 千円、支出率 35.9%)、御殿場駅周辺施設整備事業(予算現額 58,830 千円、支出済額 42,310 千円、支出率 71.9%)、工業団地開発事業(予算現額 772,220 千円、支出済額 66 千円、支出率 0.0%)、市街化調整区域既存集落内宅地創出事業(予算現額 96,078 千円、支出済額 93,982 千円、支出率 97.8%)が主なもので、一部補正減が予定されている。

予算残額の主なものは、街路関連事業の負担金補助及び交付金－負担金 32,817 千円、御殿場駅周辺施設整備事業の委託料 13,986 千円、工業団地開発事業の公有財産購入費 262,080 千円、負担金補助及び交付金－負担金 509,380 千円である。

### (3) 使用料の収納状況

使用料の収納状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対予算	対調定
御殿場駅富士山口 広 場 使 用 料	3,787,000	3,787,150	3,787,150	0	100.0	100.0
御殿場駅箱根乙女 口 広 場 使 用 料	900,000	900,000	900,000	0	100.0	100.0

※行政財産の目的外使用料を除く

### (4) 意見・要望事項

- ア 新橋深沢線(市道0115号線)道路整備事業(3工区)の河川の付替えについては、引き続き県との協議を進め、経済的・効果的な方法で対応されたい。また、用地交渉についても、引き続き地権者の信頼を得て事業を進められたい。
- イ その他、御殿場駅周辺の道路整備についても、関係団体と調整の上、市民にとって安全な方法で対応されたい。
- ウ 玉穂地区宅地創出事業については、情報発信の工夫等により早期に完売したとのことで、大変喜ばしいことである。今後の事業についても、民間事業者の宅地開発とのバランスを考慮しながら取り組まれたい。

## 公園緑地課

当課は、課長以下 6 人で、公園緑地スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・公園管理事業（秩父宮記念公園、都市公園の指定管理等に関する事務）
- ・公園整備事業（秩父宮記念公園整備事業(第2期)、緑の基本計画策定事業）
- ・緑化推進事業（緑地帯等管理事業、花いっぱいまちづくり事業、等）
- ・(仮称)原里市民の森整備事業

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	1,600,000	1,619,105	1,619,105	0	101.2	100.0
国 庫 支 出 金	35,000,000	0	0	0	-	-
繰 入 金	109,411,000	46,183,000	46,183,000	0	42.2	100.0
諸 収 入	58,000	2,000	2,000	0	3.4	100.0
市 債	50,400,000	0	0	0	-	-

収入済額の主なものは、原里財産区特別会計繰入金（都市公園（友愛パーク朝日）指定管理料に係る財産区繰入金等）5,651 千円、玉穂財産区特別会計繰入金（都市公園（桜公園・グミの実公園・遊RUNパーク玉穂）指定管理料に係る財産区繰入金等）40,532 千円である。

#### イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
公 園 管 理 費	251,391,000	170,795,520	80,595,480	67.9
公 園 整 備 費	113,952,000	1,928,517	112,023,483	1.7
玉穂地区市民の森整備費	20,212,000	3,466,293	16,745,707	17.1
緑 化 推 進 費	24,104,000	9,333,219	14,770,781	38.7

※人件費を除く

事業別の執行状況は、公園指定管理施設運営事業（予算現額 194,824 千円、支出済額 148,800 千

円、支出率 76.4%)、公園施設管理費(予算現額 40,129 千円、支出済額 13,742 千円、支出率 34.2%)、秩父宮記念公園整備事業(第2期)(予算現額 107,767 千円、支出済額 1,871 千円、支出率 1.7%)が主なもので、一部補正減が予定されている。

予算残額の主なものは、公園指定管理施設運営事業の委託料 46,024 千円、公園施設管理費の需用費—修繕料 12,168 千円、秩父宮記念公園整備事業(第2期)の公有財産費 105,000 千円、(仮称)原里市民の森整備費の委託料 16,590 千円である。

(3) 使用料の収納状況

使用料の収納状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収入未済額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
公 園 占 用 料	1,600,000	1,619,105	1,619,105	0	101.2	100.0

※行政財産の目的外使用料を除く

(4) 意見・要望事項

- ア 指定管理施設(秩父宮記念公園、都市公園)のモニタリングについては、御殿場市指定管理者制度運用ガイドラインに従い、引き続き適正に実施し、施設の管理運営レベルの向上及び最適な市民サービスの提供につなげてほしい。
- イ 秩父宮記念公園第2期整備事業については、事業の長期化が予想されるとのことである。用地交渉については、引き続き粘り強く交渉に当たり、地権者の信頼を得て事業を進められたい。また、PFI等の民間活力の活用も含め、限られた予算を有効に使うよう事業を進められたい。
- ウ 公園長寿命化計画に基づき、施設の安全確保に努められたい。

## 建築住宅課

当課は、課長以下 20 人(うち会計年度任用職員 4 人)で、市営住宅スタッフ、建築指導スタッフ、公共建築スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・市営住宅の維持管理・施設修繕に関する事務（修繕・環境整備、使用料徴収・滞納整理事務、等）
- ・建築物等の確認に関する事務
- ・建築相談、建築物等の地震対策に関する事務
- ・工事設計積算・発注業務に関する事務
- ・工事監督業務に関する事務
- ・工事設計監理等委託業務に関する事務

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	151,171,000	194,729,904	106,464,110	88,265,794	70.4	54.7
国庫支出金	23,352,000	0	0	0	-	-
県支出金	10,823,000	470,579	470,579	0	4.3	100.0
諸 収 入	2,351,000	3,000,520	3,126,286	△125,766	133.0	104.2
市 債	10,200,000	0	0	0	-	-

収入済額の主なものは、市営住宅使用料(現年度分) 95,547 千円、市営住宅使用料(過年度分) 4,963 千円、市営住宅駐車場使用料(現年度分) 4,136 千円である。

#### イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
住 宅 管 理 費	96,349,000	62,616,906	33,732,094	65.0
建 築 指 導 費	31,692,000	12,972,454	18,719,546	40.9
営 繕 管 理 費	1,593,000	412,703	1,180,297	25.9

※人件費を除く

事業別の執行状況は、施設管理費(予算現額 69,539 千円、支出済額 43,393 千円、支出率 62.4%)、市営住宅環境整備事業(予算現額 25,096 千円、支出済額 18,137 千円、支出率 72.3%)、建築物等地震対策事業(予算現額 26,618 千円、支出済額 12,132 千円、支出率 45.6%)が主なものである。

予算残額の主なものは、施設管理費の需用費－修繕料 7,881 千円、使用料及び賃借料－土地借上料 9,089 千円、建築物等地震対策事業の負担金補助及び交付金－補助金 9,860 千円である。

### (3) 使用料の収納状況

使用料の収納状況は、次のとおりである。

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対予算	対調定
市営住宅使用料	142,575,000	185,258,063	100,509,920	84,748,143	70.5	54.3
(現年度分)	136,875,000	91,785,500	95,547,320	△3,761,820	69.8	104.1
(過年度分)	5,700,000	93,472,563	4,962,600	88,509,963	87.1	5.3
市営住宅駐車場 使用料	6,930,000	7,858,041	4,339,490	3,518,551	62.6	55.2
(現年度分)	6,630,000	4,487,490	4,136,490	351,000	62.4	92.2
(過年度分)	300,000	3,370,551	203,000	3,167,551	67.7	6.0

### (4) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

### (5) 意見・要望事項

- ア 市営住宅使用料等の収納及び滞納整理業務について、収納率の向上と適切な債権管理に努められたい。
- イ 市営住宅環境整備事業について、全体的に老朽化が進んでいると聞く。今後、改修等が必要になることが想定されるが、財政状況が厳しい折であるので、計画的な改修に努められたい。
- ウ 空家等対策事業について、空家等対策計画に基づき、補助制度の活用を図る等、空家の抑制に努めるとともに、移住・定住施策との連携を図られたい。

## 道路河川課

当課は、課長以下 22 人(うち会計年度任用職員 2 人)で、建設企画スタッフ、用地・登記スタッフ、工事スタッフ、新東名促進室により組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・道路改良舗装、橋梁新設改良、河川改修に関する事務
- ・道路及び河川用地の取得及び物件補償に関する事務
- ・交通安全施設等整備事業
- ・生活道路整備事業
- ・新東名高速道路関連整備事業(新東名側道等整備事業、スマートIC整備事業、アクセス道路等整備事業、等)

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況(款別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
分担金及び負担金	75,375,000	0	0	0	-	-
(うち繰越明許費)	37,541,000	0	0	0	-	-
国庫支出金	1,289,938,000	600,877,000	83,194,000	517,683,000	6.4	13.8
(うち繰越明許費)	217,777,000	26,987,000	26,987,000	0	12.4	100.0
繰入金	1,028,042,000	54,981,000	54,981,000	0	5.3	100.0
諸収入	40,000,000	0	0	0	-	-
市債	878,200,000	0	0	0	-	-
(うち繰越明許費)	136,100,000	0	0	0	-	-
(うち事故繰越し)	69,200,000	0	0	0	-	-

現年の収入済額の主なものは、東富士演習場周辺民生安定施設整備事業補助金(防衛 8 条) 56,207 千円、御殿場財産区特別会計繰入金 25,935 千円、玉穂財産区特別会計繰入金 14,770 千円(いずれも道路改良事業に係る財産区繰入金)である。

前年度からの繰越事業に係る歳入の執行状況は、繰越明許費の土木費国庫補助金(予算現額 217,777 千円、収入済額 26,987 千円、収入率 12.4%)、土木債(予算現額 136,100 千円、未収入)、事

故繰越しの土木債(予算現額 69,200 千円、未収入)となっている。

イ 歳出予算執行状況 (目別)

(単位:円・%)

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
土 木 総 務 費	2,173,000	1,428,381	744,619	65.7
道 路 新 設 改 良 費	1,229,753,469	454,958,852	774,794,617	37.0
(うち繰越明許費)	490,720,000	261,664,600	229,055,400	53.3
(うち事故繰越し)	17,594,469	17,594,469	0	100.0
生 活 道 路 整 備 事 業 費	40,000,000	32,057,930	7,942,070	80.1
橋 梁 新 設 改 良 費	20,939,000	0	20,903,000	0.0
(うち繰越明許費)	3,926,000	0	3,926,000	0.0
防 衛 施 設 関 連 道 路 備 事 業 費	1,189,636,000	397,752,569	791,883,431	33.4
(うち繰越明許費)	50,000,000	19,360,000	30,640,000	38.7
交 通 安 全 施 設 整 備 費	35,014,000	5,612,909	29,401,091	16.0
地 域 計 画 関 連 道 路 整 備 事 業 費	699,357,843	295,523,591	403,834,252	42.2
(うち事故繰越し)	35,977,843	35,826,562	151,281	99.6
河 川 改 良 費	96,031,400	42,589,424	53,441,976	44.3
(うち事故繰越し)	25,343,400	25,343,400	0	100.0
防 衛 施 設 関 連 河 川 改 修 事 業 費	100,120,000	36,994,966	63,125,034	37.0
(うち繰越明許費)	30,000,000	29,979,400	20,600	99.9
新 東 名 高 速 道 路 関 連 整 備 事 業 費	290,369,500	167,685,610	122,683,890	57.7
(うち事故繰越し)	54,846,500	54,846,500	0	100.0

※人件費を除く

現年の事業別の執行状況は、市道新設改良舗装事業(予算現額 186,300 千円、支出済額 56,851 千円、支出率 30.5%)、社会資本整備総合交付金事業(予算現額 240,523 千円、支出済額 31,687 千円、支出率 13.2%)、地方創生道整備推進交付金事業(予算現額 210,528 千円、支出済額 56,867 千円、支出率 27.0%)、東富士演習場周辺道路整備事業(予算現額 832,678 千円、支出済額 330,400 千円、支出率 39.7%)、特定防衛施設周辺道路整備事業(予算現額 233,356 千円、支出済額 25,555 千円、支出率 11.0%)、御殿場地区道路整備事業(予算現額 166,178 千円、支出済額 71,094 千円、支出率 42.8%)、原里地区道路整備事業(予算現額 191,633 千円、支出済額 74,633 千円、支出率 38.9%)、玉穂地区道路整備事業(予算現額 129,483 千円、支出済額 58,042 千円、支出率 44.8%)、高根地区道路整備事業(予算現額 112,823 千円、支出済額 34,270 千円、支出率 30.4%)、新東名高速道路関連事業(予算現額 199,000 千円、支出済額 99,743 千円、支出率 50.1%)が主なもので、一部補正減が予定されている。

前年度からの繰越事業に係る歳出の執行状況は、繰越明許費の社会資本整備総合交付金事業(予算現額 191,000 千円、支出済額 174,894 千円、支出率 91.6%)、地方創生道整備推進交付金事業(予算現額 210,500 千円、未執行)、事故繰越の河川改修事業(予算現額 25,343 千円、支出済額 25,343 千円、支出率 100.0%)、スマートIC整備事業(予算現額 21,464 千円、支出済額 21,464 千円、支出率 100.0%)、アクセス道路等整備事業(予算現額 30,383 千円、支出済額 30,383 千円、支出率 100.0%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、社会資本整備総合交付金事業の工事請負費 110,390 千円、地方創生道整備推進交付金事業の工事請負費 145,680 千円、東富士演習場周辺道路整備事業の工事請負費 486,837 千円、特定防衛施設周辺道路整備事業の工事請負費 174,920 千円、(繰越明許)地方創生道整備推進交付金事業の工事請負費 210,500 千円である。

### (3) 郵券等の管理について

郵券及び郵便受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

### (4) 意見・要望事項

- ア 依然として財政状況が厳しい折、各地区の要望に対して十分な事業化は困難であるが、要望箇所の安全性、事業効果の順位付けを行うなど総合的優先順位を考慮して、限られた予算の中で効果的に事業を進めている。引き続き地権者の信頼を得て効率的な事務事業の執行に努められたい。
- イ 専門知識と経験が必要とされる業務であることから技術職員の確保と技術の継承が重要であるとのことである。定員管理等の都合もあり困難もあるとは思いますが、異動間隔の調整や計画的な補充を要望する等、適正な人員管理に努められたい。
- ウ 課題事項にも挙げているが、新しい道路等を作ると維持管理にも費用がかかるため、「作る」ことから「維持管理」に移行していくことは良いことである。財政状況が厳しい折であるので、関係部局(企画・財政・人事部門)とも意思統一を図られたい。
- エ 老朽化した橋梁の改修については、計画的に取り組まれたい。

## 管理維持課

当課は、課長以下 12 人(うち会計年度任用職員 3 人)で、管理・占用スタッフ、維持スタッフにより組織されている。

### (1) 主な事務事業の状況

主な事務事業の状況は、次のとおりである。

- ・道路及び河川の維持修繕に関する事務
- ・雪氷対策に関する事務
- ・道路管理事務（市道路線認定、区域決定、道路承認工事許可、道路占用許可ほか）
- ・河川管理事務（用途廃止申請、河川承認工事許可、河川占用許可ほか）
- ・道路台帳及び河川台帳に関する事務（道路台帳整備・占用管理システム運用事業ほか）

### (2) 予算の執行状況

歳入及び歳出予算執行状況は、次のとおりである。

#### ア 歳入予算執行状況（款別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
使用料及び手数料	37,547,000	39,016,524	38,922,042	94,482	103.7	99.8
国 庫 支 出 金	62,725,000	0	0	0	-	-
繰 入 金	105,099,000	24,797,000	24,797,000	0	23.6	100.0
諸 収 入	2,501,000	2,500,993	2,500,993	0	99.9	100.0
市 債	153,500,000	0	0	0	-	-

収入済額の主なものは、市道・法定外道路占用料 31,898 千円、河川占用料 7,002 千円、御殿場財産区特別会計繰入金 11,584 千円、原里財産区特別会計繰入金 7,047 円(いずれも道路改良事業に係る財産区繰入金、外)である。

## イ 歳出予算執行状況（目別）

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	支 出 済 額	予 算 残 額	支 出 率
土 木 総 務 費	45,249,000	2,211,921	43,037,079	4.9
道 路 橋 梁 維 持 費	508,939,000	190,504,239	318,434,761	37.4
生 活 道 路 整 備 事 業 費	450,000	0	450,000	-
交 通 安 全 施 設 整 備 費	28,549,000	10,014,452	18,534,548	35.1
河 川 改 良 費	33,000,000	11,863,720	21,136,280	36.0
道 路 河 川 等 災 害 復 旧 費	128,000	17,070	110,930	13.3

※人件費を除く

事業別の執行状況は、道路台帳整備事業(予算現額 39,796 千円、未執行)、道路・橋梁管理費(予算現額 36,892 千円、支出済額 20,838 千円、支出率 56.5%)、道路維持補修事業(予算現額 298,347 千円、支出済額 117,874 千円、支出率 39.5%)、社会資本整備総合交付金事業(予算現額 136,500 千円、支出済額 32,615 千円、支出率 23.9%)、河川維持補修事業(予算現額 33,000 千円、支出済額 11,864 千円、支出率 36.0%)が主なもので、計画通り執行されている。

予算残額の主なものは、道路台帳整備事業の委託料 39,796 千円、道路・橋梁管理費の委託料 16,040 千円、道路維持補修事業の需用費－修繕料 54,267 千円、委託料 81,336 千円、工事請負費 39,080 千円、社会資本整備総合交付金事業の委託料 39,500 千円、工事請負費 60,385 千円、交通安全施設(道路区画線等)整備事業の委託料 15,122 千円、河川維持補修事業の需用費－修繕料 20,136 千円である。

## (3) 使用料の収納状況

使用料の収納状況は、次のとおりである。

（単位：円・％）

区 分	予 算 現 額	調 定 額	収 入 済 額	収 入 未 済 額	収 入 率	
					対 予 算	対 調 定
市道・法定外道路占用料	31,000,000	32,086,724	31,898,082	188,642	102.9	99.4
河 川 占 用 料	6,500,000	6,904,900	7,001,900	△97,000	107.7	101.4

## (4) 郵券等の管理について

郵券及び郵券受払簿について書類審査と現品確認を実施した結果、正確に記帳され、適正に管理されていた。

## (5) 意見・要望事項

ア 市道・法定外道路占用料及び河川占用料については、引き続き収納率の向上と適切な債権管理に努められたい。

- イ 道路等の管理維持については、道路台帳のデジタル化が図られたことから効率的に台帳管理を行うとともに、パトロール等による危険箇所の早期発見・早期対応に努められたい。特に、通学路については、引き続き地元等の協力を得ながら安全確保に努められたい。
- ウ 道路等に限らず公共施設全般について言えるが、新しいものを作ると、その維持管理に費用がかかる。「作る」ことから「維持管理」への転換を求められている。関係部局(企画・財政・人事部門)と協議されたい。